

## 新しい道を切り拓いた いわての女性たち ①

### 婦人社会運動家 横田 千エ

横田千エさんは、戦後県内初の女性市議会議員、岩手県議会議員となり一貫して母子福祉と女性の地位向上のために力をそそぎ、女性の社会参加への道を拓いた先駆者です。

明治34年二戸郡一戸町に生まれ、女子師範卒業後、小学校教師となり同僚の無産運動家横田忠夫と結婚。横田千エの結婚は波乱万丈で、社会主義者の妻として教職を追われる。その後、仙台、東京、大阪と転々とし厳しい弾圧のなか多くの同志を得て社会主義者として意識を高めていく。大正14年に二人で帰盛、忠夫の政治活動を支えた。

昭和8年、忠夫は社会大衆党から盛岡市議選に立候補し最高点で当選したが、時代は軍国主義へと進み、党は解散する。失望した忠夫は昭和15年盛岡市菜園交番に留置中「お前の為には悪い夫であったけど、僕の為には実にいい妻だった」と遺書を残し自殺した。このとき千エ40歳。2児を抱え厳しい時代を生き抜いた。

昭和20年婦人参政権を獲得し、21年39人の女性代議士が誕生。その翌年の22年戦争で夫を失った女性たちの救済を訴え県内初の女性市議会議員となる。その後34年には県議に最高点で当選。市議、県議ともに3期務めた。

議員活動ばかりではなく、現在の県母子福祉協会の前身である「岩手みどりの会」を結成し、母子家庭のために力を尽くした。昭和54年、第35回総選挙の日に78歳の生涯を閉じた。

- 【参考図書】
- 『生きて輝いて—変動期を生きぬいた女たちの記録—』熊谷佳枝（著）1998年
  - 『岩手の婦人』岩手県（著）1981年
  - 写真『祖母・母・娘の時代』鹿野政直・堀場清子（著）1985年（岩波書店）



▲初めて投票する女性たち

## ● 女性相談（本館）

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~ 20:00		
木	10:00 ~ 20:00		
金	10:00 ~ 17:00		

（第2火曜日、年末年始、祝日は休み）



## もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニングいわて

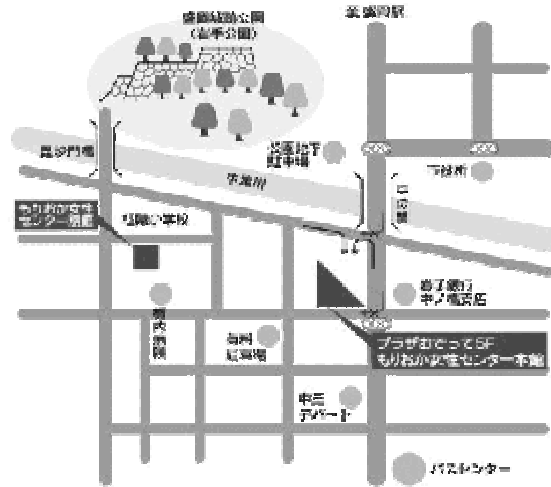
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

### ■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階  
 電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750  
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00 まで)  
 休館日 毎月第2火曜日、年末年始

### ■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8 (旧盛岡市働く婦人の家)  
 電話番号 (019) 624-3583 FAX 050-2003-5778  
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00  
 休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）  
 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車  
 本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。  
 おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

### あとがき

◆5月にニュースレターを持ってりんご畑の中にあるカフェに行ってきました。この場所は、いつ訪ねても心地良い時間が流れています。このカフェとの出会いは、2年前の起業講座でした。講座を通じて素敵な出会いがあり、今年もどんな出会いがあるか楽しみです！（N）

◆ここ？十年、日常の中での運動は朝夕の自転車こぎぐらいのものだったが、最近は午後3時になると流れてくる曲に合わせて「いたたたっっ」とうめきながらラジオ体操をしている。ラジオ体操をあなどるなかれ、あちこちの筋が伸びてなかなか心地よく、仕事のいい気分転換になっている。（Y）

ひとひと  
 —女と男、ともに参画する社会をめざして—

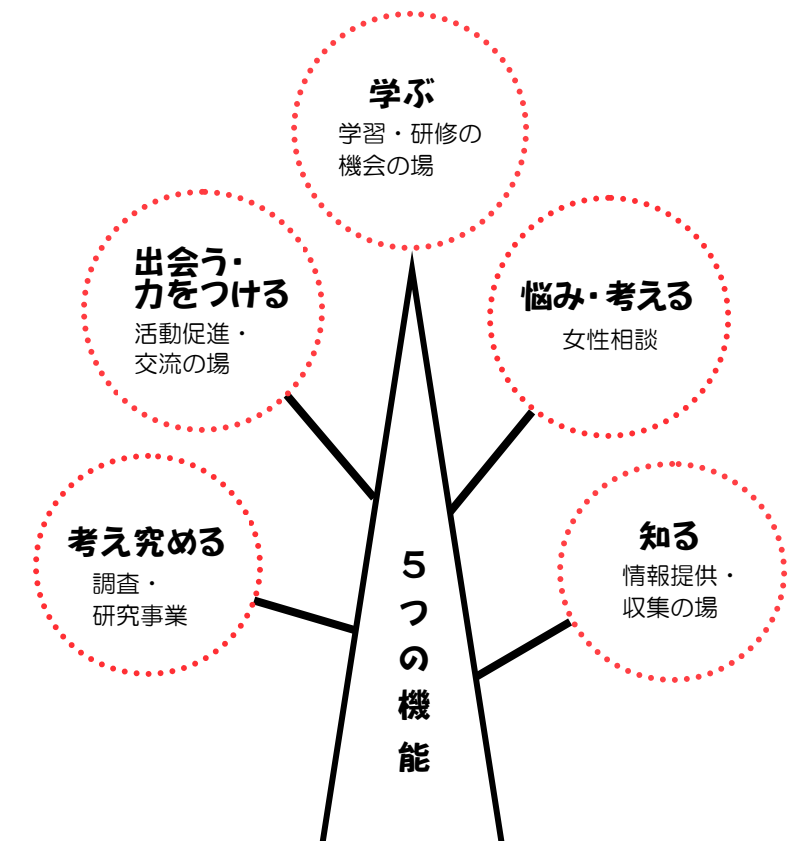
# もりおか女性センター

2009年  
 7月  
 No. 19

## ニュースレター

内容

- ◎ 講座情報
- ◎ もりおか展終了報告
- ◎ 新着図書紹介
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち など



平成21年度 事業テーマ『広げよう、わたしたちの学びと行動を！』

発行：もりおか女性センター

## NPO法人 参画プランニング・いわてが 知事表彰を受けました。

6月21日、岩手県男女共同参画センターのフェスティバル開会式の席上で、もりおか女性センターの指定管理者である NPO 法人参画プランニング・いわてが、いわて男女共同参画社会づくり功労者として知事表彰を受けました。

表彰状には「女性の起業や社会参画を積極的に支援するとともにDV予防に取り組むなど男女共同参画社会づくりに向け多大な貢献をされましたのでこれを表彰します」とあります。

これもひとえに皆様のご支援のお陰と深く感謝申し上げます。



表彰を受ける  
平賀理事長



## ● 講座情報

### みんなのおしゃべりルーム ～言葉にしよう自分の気持ち～ (全5回)

日 程：8/25(火)・28(金)・9/1(火)・4(金)・11(金)  
時 間：10:30～12:30  
会 場：女性センター本館  
対 象：40代～50代の女性 (全回参加できる方)  
定 員：10人  
参 加 費：無料

申込方法：8月18日(火) 10時から電話(604-3304)にて先着順に受付。

### アグリ起業芽でる塾 (全2回) ～始めよう！ わたしのアグリビジネス(入門編)～

日 時：9/4(金)、5(土) 10:00～16:00  
会 場：生活アトリエ(本館)  
対 象：現在、産直活動をしている女性農業者で、  
ITを活用して販路を広げたいと考えている方。

講 師：工藤昌代さん(榊ホップス)  
山崎久民さん(税理士、WAN 研究所)

内 容：ITを活用した起業についての基礎を学ぶ。

受講料：2,000円  
申込方法：往復はがき、もしくはe-mailにて受付。8月19日(水)締切。



### アグリ起業 パソコン活用講座

①ネットショップコース(ネットショップで販売するには?)  
日 時：9/10(木)、17(木)、24(木) 18:30～20:30

②ブログコース(ブログ作成と活用術)  
日 時：9/14(月)、16(水)、18(金) 18:30～20:30

①、②共に申込方法：往復はがき、もしくはe-mailにて受付。  
8月31日(月)締切。

※内容、受講料等詳しくは、チラシ、ホームページ等でご確認ください。

## ● 事業の報告

### 「男女共同参画週間 もりおか展 2009」終了

国が定めている男女共同参画週間に先だち、もりおか女性センターでは6/13(土)～6/19(金)にもりおか展を開催しました。オープニングは、映画「シロタ家の20世紀」で幕が上がりました。今年度は基本法制定10年に焦点をあて、交流コーナーにおいて、関連ビデオの上映、また、関連図書やパネルを展示し、最終日は「辛淑玉さん講演会」で幕を閉じました。

#### シン スコ 【辛 淑玉さん講演会】

講演中、辛さんから次々と質問を投げかけられる男性たち。その答えに会場内は思わず笑いの渦が…

軽快なテンポで、縦横無尽に会場の皆さんにマイクを向ける辛さんは参加者との距離を縮めていました。

辛さんの男女共同参画社会の核心を突く講演会は、会場内の心をしっかりとつかみ、今年度のもりおか展の最後を飾りました。



▲辛 淑玉さん

「基本法10年を過ぎて  
山口百恵が神話になる理由  
女性の变化・男性の变化・私の变化」

#### <参加者の声>

- ・目からウロコ！たのしく、ドッキリと、知り、気づき、明日から生きる力をいただきました。
- ・素晴らしかった。最近こんなに小気味のよいお話を聞いたことはなかったです。
- ・本当に楽しく、おなかの底から笑いました。
- ・気分もすっきり、晴れやかになる講演会でした。明日からもガンバルゾ！
- ・痛快でした。

パネルは「イラストで学ぼう！男女共同参画社会基本法」に加え新たに「報道で見る男女共同参画社会基本法」パネルを作成しました。



▲関連図書コーナー



▲行政や社会の動き、岩手県や盛岡市の取組みなどを7枚のパネルで紹介

## ● 図書コーナーよりご案内

図書コーナーに新しい本が入りました。ご利用ください。

### 「新編 日本のフェミニズム」

上野 千鶴子他(解説) 岩波書店 2009

本館



平成6年に「日本のフェミニズム」が発刊され、15年経過した今年新版として発刊されました。この間日本国内ではジェンダー政策が主流化し、平成11年「男女共同参画社会基本法」が制定されるなど女性の生き方の転換期になりました。今回の増補新版(12巻)では多くの研究者や実践者の文献が網羅されています。「女性学」だけでなく「男性学」の学びを深めるためにも必読の書です。

※現在、「1リブとフェミニズム」「5母性」「7表現とメディア」「8ジェンダーと教育」「10女性史・ジェンダー史」の5巻発刊。

### 『少女の友』創刊100周年記念号 -明治・大正・昭和ベストセレクション-

実業之日本社(著) 2009

明治41年創刊当時、「少女にこそ一流の作品を」のモットーのもと、川端康成や吉屋信子、中原中也らが書き下ろし中原淳一が表紙を描いた『少女の友』が、生誕100周年を記念し「1号だけ復活」しました。時代背景とともに当時を生きる少女たちや編集者の思いが伝わる1冊です。



### 「差別と日本人」 野中 広務、辛 淑玉(著) 角川書店 2009

日本の中にはびこる「差別」。日本人はいつから「差別」と関わり続けているのか。差別が差別を生む構造とは何か。なぜ、差別の闘いは終わらないのか。差別を受ける側に生まれた2人が、日本人のタブーを論じ、今後の行方と日本人論を語る決定版の一冊です。

### 「わが家の母はビョーキです」

中村 ユキ(著) サンマーク出版 2008

別館



精神病(統合失調症)を罹った母を持つ、著者の実話を描いたコミックエッセイです。本書では、「うつ」に次いで多い「統合失調症」とはどんな病気なのか、どうやって回復するのか、どんな思いを抱いているのか、そして当事者とどう関わっていけばいいのかを家族の視点から描いています。

### 「ジジからの絵手紙『戦時中の盛岡の子どもたち』」

菅森 幸一(著) 盛岡タイムス社 2009

盛岡タイムス「フォレスト」に連載された「菅森幸一のジジからの絵手紙」が、創刊40周年記念としてまとめられました。今から65年前の戦時中の盛岡の子どもたちの様子が版画家である著者自らの目を通して実に生き生きと描写され、この本を開くと、その当時の子どもたちに出会うことができます。

